令和8年度「品川区学力定着度調査」の結果から明らかになった
課題と学力向上に向けた取組

教科	社会

品川区立京陽小学校

【学校全体の結果】
・各学年ともに、目標値を上回ることができている。
・第4学年の領域「地域や市の様子」、第5学年では領域「特色ある地域の様子」が課題である。地域に関する考察をする学習を重点化する。
・表や資料、グラフなどの読み取る能力とともに、文章理解力を高めることを指導の重点として取り組む。

【第6学年】

1　概要		全体正答率は全国の目標値を上回っている。 各観点別にみても、区の平均と比較し、同等かやや上回っている。
2　課題と取組	①課題	他の問題の内容と比較すると、「日本の水産業」「日本の工業生産」の正答率がやや低い。
	②原因	「日本の水産業」については水揚げ量に関する資料の読み取り、「日本の工業生産」については日本の貿易についての資料の判断に関する誤答が多い。資料を関連させて読み取る力が弱い。
	③方策	グラフなどの資料を丁寧に読み取る活動を取り入れる。また、二つ以上の資料を関連させて読み取る経験を増やす。

【第5学年】

1　概要		全体の正答率は、目標値を大きく上回っている。 基礎、活用など観点別の正答率も、それぞれ目標値を上回っている。
2　課題と取組	①課題	内容「特色ある地域の様子」がわずかに目標値を下回っている。
	②原因	まず、地域の活動を記した文章内容を理解する必要がある。その上でその活動が何を意図しているか考える力が不足している。
	③方策	社会科で様々な人々の活動を学ぶ際に、誰の何のために行われている活動なのか、その意図に目を向けて学習する。2学期より学習アプリを活用し、継続的に復習を行う。

【第4学年】

1　概要		教科全体の正答率は、目標値をやや上回っている。
2　課題と取組	①課題	課題は、昨年に引き続き、領域「地域や市の様子」である。全国平均、目標値ともに上回っているが、他領域と比較すると課題がある。
	②原因	前学年の内容が把握できていない。身近な工場、学校の周りの様子、公共施設などの学習内容の定着が不十分である。
	③方策	復習問題を行うなど、反復的に学習に取り組ませる。